

コロナ禍での「いじめ」は… ～こんな時だからこそ～

コロナ禍の今、ストレスをためている子どもたちは大勢いるでしょう。そして、コロナに関連して「いじめ」を受けてしまう子もいます。コロナに感染した子だけでなく、本人や家族がPCR検査を受けた子が、バイキン扱いされることがあるでしょう。感染したことで学校行事などが中止になれば、責められることもあると思います。

家族が医療従事者であるためにいじめられる子もいれば、コロナとは無関係に休んだだけなのに、コロナだと中傷される子もいるかもしれません。校内でコロナ感染者が出たときに、誰が感染者かとみんなが探し出そうとするだけでも、当事者はひどく傷ついてしまいます。



いじめの防止は、学校全体や社会全体で、「コロナいじめは絶対に許さない」という雰囲気を作り出すことが大事です。社会的距離を取ることや、消毒することは正しくても、バイキン扱いや「あっち行け!」と怒鳴ることは間違っていると伝えなければなりません。おとな自身が、手本を示しましょう。家庭の中での、感染に関する詮索、感染者を忌み嫌うような言動は、子どもの「コロナいじめ」を助長します。

親も先生も、コロナ感染者への思いやりや、医療従事者、エッセンシャルワーカー等に対する感謝の思いを示していきましょう。何もしなければ、コロナによるいじめや人権侵害は起きてしまいます。だから、積極的に模範的な言動が取れば良いと思います。

コロナは、強大な敵です。おとなたちも翻弄され、感染者への偏見や差別による人権侵害が起きています。こんな時だからこそ、子どもたち一人ひとりの言葉やつぶやきに、しっかり耳をかたむけてあげてください。そして、いっしょに寄り添いながら考えてください。そこから先の希望が見えてくるはずですよ。守るべきものは「子ども」です。



DVD23分 中学生～



DVD34分 小学生～

※「いじめ」を取り上げている人権啓発視聴覚教材です。研修用貸出可(川西市総合センター)

人権啓発ビデオ上映会

日時: 3月17日(水) 午後3時30分～

3階 体育室で行います

作品: ①「ねずみくんのきもち」(アニメ 12分)

②「みんな いちばん!」(アニメ 13分)



ロングセラーのねずみくんの絵本シリーズの中の「ねずみくんのきもち」を映像化した作品です。いじめや自殺が多い今、「おもいやり」や「想像力」の大切さを教えてくれる、ねずみくんから子どもたちへのメッセージです。



小さなもりの小さななかまたちのお話です。ともだちのいいところを認め、自分のいいところをみつけることのすばらしさを伝えます。

※上映会が終わったら、小学生はそのまま遊び場の開放になるよ!
※感染症対策のガイドラインに従い、十分気をつけて実施します。